



川島猛展 '89・8・12^① - 9・10^②

開館時間——午前9時→午後5時(金曜は7時まで、初日は10時開展)

休館日——月曜日

入場料——一般700円 高・大生400円 小・中生200円

一般前売り560円

団体20名様以上は2割引

講演会——川島猛「ニューヨーク、ロフト話し」8月13日(日)1時30分

主催／高松市美術館

共催／四国新聞社

後援／NHK高松放送局・瀬戸内海放送・西日本放送

岡山放送・山陽放送・テレビせとうち

高松市美術館

高松市紺屋町10番4号

TEL.0878(23)1711



DREAMLAND. N.Y. 1989-No 5 (247.7X621.6cm)



N.Y. 73~J・T~3 1973 (233.0X466.0cm)



DREAMLAND. N.Y. 1989-No 3 (244.0X497.5cm)

川島猛は1930(昭和5)年、高松市に生まれました。香川県立工芸学校を卒業した彼は上京し、武蔵野美術学校などに学びました。

1960年代、前衛的な実験を試みていた若いアーティストたちの中には、より自由な環境とチャンスを得て、パリやニューヨークへと飛び出していく者もいました。そして川島もその一人です。彼は1963年にニューヨークへと移って行きました。この頃の彼の作品は抽象の大作で、有機的なフォルムを格子状に仕切られたキャンバスに封じ込めたものでした。日本の家紋を思わせるようなそのフォルムは官能的な生命の象徴性を持っています。これらの作品によってやがて彼は注目を浴びるようになったのです。1964年クライスラー美術館での「ニュー・アイ(新しい目)展」、翌年ニューヨーク近代美術館での「新しい日本の絵画と彫刻展」などの展覧会に選ばれて出品し、パーマネント・コレクション(永久蔵)に加えられるという栄誉も受けました。

こうして作品が認められ、彼はますます精力的に制作しました。格子の中に納まっていた生命のシンボルは時には解き放たれ、時には色彩を増し、また立体になりながら成長し続けます。彼は膨大なエネルギーが渦を巻くメトロポリス/ニューヨークを舞台にいつでも自由で原初的な生命の力を追及して止まないのです。

今回の展覧会では、60年代の作品から、DREAM LAND NEW YORKシリーズなどの近作まで合計約60点をご紹介します。郷土が生み、ニューヨークが育てたアーティスト KAWASHIMAのエネルギー溢る作品群をどうぞお楽しみ下さい。

▲ワークショップのご案内▼

川島猛氏を講師に迎え、特別実技講座を開催します。ぜひ、ご参加下さい。
(なお参加にはあらかじめ申し込みが必要です。)

「表現いろいろ素材いろいろ①」
8月19日(土) 午前10時~午後4時

「表現いろいろ素材いろいろ②」
8月20日(日) 午前10時~午後4時

対象：高校生以上 受講料：1講座につき1,950円(材料費は別途実費)
2日間連続して参加する場合は3,900円